

平成29年白川町議会第3回定例会町長所信表明

この頃の季節をあらわす言葉として「ツバメ去る」と言うそうです。夏鳥であるツバメが南へ帰る頃で残暑も落ち着き、いよいよ秋本番です。4月初旬の「ツバメ至る」から半年。つがいでやって来て、多くの雛を育て家族で南へ帰って行く姿は、ほのぼのとした家族を思いおこします。今、日本の家庭、家族に目を向けますと、家族があってもお一人様、家族としての会話が進まない家庭が多くなっていると聞きます。スマートフォンの普及が拍車をかけているとか。ファミリーレストランでは、店員が「お一人様ですか」と聞くことが多いとのこと。このように個人を優先した他人からの干渉のない生活に向かい過ぎてはいないでしょうか。改めてツバメの家族をうらやましく感ずる次第です。この「お一人様」から、絆の言葉どおりのいわゆる「お互い様」社会の実現が、「みんなでやろまいか」の真意であり、感謝の心、思いやりの心、自立の心で地域づくりを進めたいと考えます。

飛騨川バス転落事故の8.17災害から50年、半世紀が過ぎようとしています。半世紀前と現在では、町内の山林の様相は大きく変わっています。つまり、人工林の占める割合が大きくなり、その管理は十分ではありません。先の九州北部の豪雨災害の現実から目をそむけるわけにはいきません。伊勢湾台風並みの台風がきて、8.17豪雨並みの雨の降る可能性は大きいと考えられます。皆、過去の経験があります。

行政の一番大切な仕事は、住民の生命、財産を守ることであり、安全安心が最優先されます。今日の安全、明日の安心の言葉どおり安全が確保されて安心になれます。我が町の山林の適正管理は、防災の面からみても重要課題であります。木材価格の低迷が放置山林を生んでいます。今年、国の林業成長化モデル事業の指定を受け、儲かる林業への転換を図りたいと考えています。山元に利益が還元される仕組みづくりに取り組みます。それが治山、治水につながり、災害の低減へとつながります。これは川下から川上の相互理解のもと進められるべきだと考え、その一助として国の森林環境税に期待するものであります。

町の新庁舎建設は、災害対策の拠点施設であるべき役場庁舎が、現状は地震、土砂災害に対して極めて危険であるとの指摘から移転新築を余儀なくされるものであります。今年度中に、その方向性を決定したいと考えております。

行政の大切な仕事として、住民の生活の質を向上させることがあります。つまり、経済的、文化的、社会的地位向上であります。町の基幹産業は農林業、

それに関連した建築、建設、木工、製造業等々です。特に、産直住宅の建築戸数は県下トップクラスです。それらのバックアップ施策を継続いたします。また、近年、地元出身の方が企業展開をしていただく機会が増えました。雇用の場確保のため支援をしております。農業においては、古くからの特産である白川茶の国内外への販路拡大を引き続き行うとともに、消費者志向にあった商品開発を支援しております。夏秋トマトは、新規就農者も増え、大切な基幹作物になっています。オーガニック農業を志して移住される方も増え、今や町の大切な農業担い手になっています。これらの支援も続けてまいります。農地集積により効率的な農業経営、持続可能な農業経営を目指してまいります。果樹栽培についても、実証栽培等を通じて研究、普及を模索したいと考えます。山林は、材木生産地ばかりでなく、癒しの場であったり、特用林産物の生産の場でもあります。これらのための研究も進めたいと考えます。

文化面では、飛騨美濃地歌舞伎の伝承に努め、佐見歌舞伎、東座歌舞伎をより多くの方たちに知っていただきたく思います。今年で第33回を迎えた白川・イタリアオルガン音楽アカデミーは、新しい出会いを期待し継続してまいりたいと考えます。観光資源としての利用も模索したいと思えます。ある宝をどう生かすかが課題だと認識しています。

人口減少の中にあって児童生徒数は減少し、学校運営が厳しい状況にあります。そんな中、各地区で学校運営協議会が設立され、今後の学校運営について熱心に議論されております。今後、各地区の協議会の報告を受けて、学校の統合等について結論を出す時期にきていると認識しており、議員の皆さんとしっかりとした議論を尽くした上で、決定してまいります。

今、町の喫緊の課題事項は地域公共交通であります。現在、実証運行しているコミュニティバスでは充分ではありません。大きな改革、転換が必要になってくると考えます。子育て支援、健康福祉、すこやか長寿の町づくり、これらの政策実行の鍵をにぎるのは、「お一人様からお互い様」社会での地域力アップだと考えます。町民一丸となった町づくりを「お互い様」を合言葉に前進させたいと考えます。町民の皆様のさらなるご支援、ご協力を切にお願いするものであります。

平成29年9月20日

白川町長 横家敏昭